

東北海区沿岸水温予報(2002年6月)

海域	経過 (2~4月)	現況 (5~6月上旬)	見通し (6~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸 北部 (青森太平洋沿岸;青森水試)	津軽暖流域の水温はやや高めて推移した。 津軽暖流の東方への張り出しは平年並みで推移した。	津軽暖流の張り出しは平年並み。 沿岸定地水温はやや高め。	津軽暖流域の水温はやや高め。 津軽暖流の東方への張り出しは平年並。	6月の対馬暖流の勢力はやや強めであること、親潮第1分枝の張り出しが北偏傾向であること、沿岸定地水温の現況等から判断した。	特に無し。
三陸 中部 (岩手沿岸;岩手水セ)	2月は本県沖合全域に親潮系冷水が南下してきたが、3月には北退していった。4月には北上暖水が県中部沖合まで張り出してきた。2月は県北部沖合は平年より高め、県南部沖合はやや低めであったが、3月、4月は本県全域の沿岸、沖合共に平年並~やや高めであった。	5月は黒埼沖合に暖水塊が見られ、本県沿岸全域で平年並からやや高め、本県沖合全域で平年よりも高めで推移した。6月上旬は、本県沖合の50m以深に冷水が見られた。また、津軽暖流と暖水塊の影響で沿岸全域と県北部沖合は平年よりやや高めであったが、県南部沖合は平年並であった。	本県沿岸、沖合ともに平年並~やや高めに推移する。	4月、5月、6月の沿岸の水温が平年より高めの傾向にあること、親潮第一分枝が北偏傾向にあること、黒埼沖合の暖水塊の影響が予測されること、常磐沖合の暖水塊が北上することが予想されることから判断した。	特に無し。
三陸 南部 (宮城沿岸;宮城水セ)	2~3月:親潮系冷水が波及し、2月は表面・100m深ともに平年より2~3低い水、3月は2~4低い水で広く覆われた。南部沖合海域には南からの北上暖水が波及し、4~6平年より高い海域も見られた。 4月:冷水の影響が弱まり表面では平年より概ね1~3高め、100m深は概ね平年並となった。	5月までは平年より1~4高めの水に広く覆われたが、6月に入ると北・中部沖合海域を中心に表面で平年より1~3、100m深で平年より1~2低めの水が広がった。	142°30'E以西の海域では表面・100m深とも平年並~平年よりやや高めで推移する。142°30'E以東の海域では平年よりやや低めだが、徐々に平年並に推移する。	現在平年より1~3低い北・中部沖合海域の水帯は表面・100m深ともに東流傾向で、かつ南部沖合から波及する黒潮系暖水の勢力が今後強まると予想される。	コウナゴ不漁(5月水揚量昨年比8%)。スルメイカ豊漁(5月水揚量昨年比約36倍、過去7年中最多)。
常磐 北部 (福島沿岸;福島水試)	2月:距岸50海里以内に親潮系冷水が南下し、全域で降温が進んだ。50海里以東は沖合からの暖水波及により平年並み~やや高め。 3月:沖合からの暖水波及が強まり、平年より高めとなった。親潮系冷水はごく沿岸を南下するが弱め。 4月:50海里以東は依然、県南部を中心に高め基調で推移しているが、30海里以内の沿岸部では親潮系冷水の南下が強まり、平年並み~やや低めとなった。	5月:沖合からの暖水波及は弱まり、沿岸には親潮系冷水が南下し、平年並み。 6月:距岸50海里以内は広く南下流に覆われた、水温は平年並み。東経143°以東には黒潮系暖水が分布。	距岸30海里以内は、概ね平年並みで推移する。30海里以東は、沖合からの暖水波及により、県中北部を中心にやや高め。	親潮第1分枝は北偏を示しており、本県沿岸への南下は弱いと考えられる。黒潮主流は沖寄りに流れており、沿岸部への暖水波及は弱く、今後この傾向が持続すると判断した。	2月以降、本県沿岸にまき網漁場が形成されていない。イワシ類(セグロ、マイワシ)の水揚げは低調、サバ類の水揚げはみられない。今漁期中、オキアミ漁場形成がほとんどみられなかった。コウナゴ漁の低調。竿釣り・まき網によるカツオの水揚げが一月程度遅れている(6月上旬現在、まき網によるややまとまった水揚げがみられている)。
常磐 南部 ~ 鹿島灘 (茨城沿岸;茨城水試)	2月:黒潮が犬吠埼沖に存在し、沿岸域に暖水舌が形成されていた。また、常磐南部沖に親潮系冷水が差し込んでいた。3月:常磐南部沿岸域に親潮系冷水が差し込んでいた。黒潮は犬吠埼より南を流れていたが、沖合域に黒潮系暖水が波及していた。4月:黒潮は犬吠埼沖を東に流れていたが、常磐沖の暖水塊から沿岸域に黒潮系暖水が波及していた。常磐南部沿岸域に親潮系冷水が差し込んでいた。	5月:常磐南部海域に親潮系冷水が差し込み、鹿島灘には黒潮系暖水が波及している。6月:沿岸域に親潮系冷水が差し込み、沖合域に黒潮系暖水が波及している。	全般的に「平年並み~やや高め」で推移し、常磐南部沿岸域では一時的に「平年並み~やや低め」となる。	房総半島沖での黒潮の離岸変動に伴って鹿島灘~常磐南部海域には黒潮系暖水が断続的に波及すると考えられる。また、三陸近海には冷水域が存在するため、常磐海域では一時的に冷水の影響を受けると考えられる。	船曳網漁業によるオキアミ・コウナゴ漁が不漁であった。まき網漁業によるサバ・マイワシ漁が極めて低調に推移している。まき網漁業によるカタクチイワシ漁が好調に推移している。

各階級の水溫平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い(20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並み(40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い(20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い(7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~